

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館) (鉄電)二二五八・九(公衆電話)五二二七三〇七

労農連帯を一層強め、三里塚・ジェット闘争を貫徹しよう！ 国鉄35万人体制粉砕！ ジェット増送阻止！ 三里塚二期工事阻止！ 10.21 国際反戦闘争にストライキで決起！



全国の動労組合員の皆さん！ 一〇月一二日、動労千葉第一回臨時委員会は、目前に迫った10・21国際反戦闘争を三里塚空港二期工事粉砕・ジェット燃料増送阻止・国鉄三五万人体制攻撃粉砕の第一波闘争としてストライキを含む実力闘争をもって闘うことを決定しました。この動労千葉の闘いへの決起に対して「本部」反動暴力集団は、動労千葉破壊のみ専念し全国の動労組合員に対しては、国鉄再建攻撃への屈服と協力の路線を強要しています。動労千葉は、10・21の22闘争を秋期・年末から八〇年春闘を見据えた闘いの第一歩として、真に国鉄労働者の利益を守り、正しい方針と闘う方向を指し示すものとしてあらゆる妨害・弾圧と困難をのりこえて、闘い抜く決意です。

国鉄三五万人体制攻撃粉砕の突破口を切拓く闘い

国鉄当局は、七月に発表した国鉄再建基本構想Ⅱ「国鉄三五万人体制」という大合理化攻撃を着々と進めています。乗務員に対しては徹底した運用効率アップ、地上勤務者に対しては全面的下請化による労働強化と人減しを強行し、国鉄労働運動を圧殺し、「産報化」することも展望した「三五万人体制攻撃」を黙過することはできません。こうした恐るべき合理化攻撃を前に国労・動労中央指導部は、「経営参加」や「安定輸送宣言」をもって屈服しつつあり、特に、動労「本部」は、国鉄当局の尖兵として積極的役割りを果たしています。

この国労・動労の対応に意を強くした国鉄当局は、合理化の時期を早め「55・10」を待たず、「55・3」にその攻撃の突破口を求めようとさえしています。動労千葉は、今秋、10・21の22闘争を国鉄三五万人体制攻撃粉砕・国鉄再建合理化粉砕を含む「反合・三里塚ジェット闘争」として闘うことを決定しました。

国鉄労働者の利益を守る方針も闘いも全て放棄した動労「本部」反動暴力集団の反動性と動労千葉の路線的正義性の対比は今や鮮明であります。

「備蓄ゼロ」をめざす闘い

政府・空港公団・国鉄当局は、ジェット燃料増送を十一月一日より開始する画策を行なっています。

政府は、三里塚空港二期工事強行をはじめ関西新空港、羽田拡張、全国一七空港の拡張などを中心とする「第四次空港整備六ヶ年計画」、日本中を騒音と油地獄の中へタタキ返もうとしています。この一連の計画は三里塚へのジェット燃料増送計画を完成することなしには一歩も前進しないので

動労千葉は、この間の労農連帯・三里塚・ジェット闘争貫徹の立場を堅持し、この増送攻撃に對し、10・22ストを突破口とする「備蓄ゼロ」を目標とする闘いとして職場生産点から闘い抜く決意です。

「本部」反動暴力集団こそ態度表明をせよ！

一〇月一〇日の成田線で起ったジェット燃料増送車に對する事件について「本部」反動暴力集団は「再建情報」4(10・12付)をもって「責任ある態度表明をせよ」などと、謀略分子らしい言辞を書き連ねていますが、動労千葉は、動労千葉一四〇〇名組合員と動労全国の仲間に対し、そして社会的にもはつきりと見解を明らかにしています。

動労千葉が職場・生産点からの血の滲むような闘いをもってジェット燃料増送阻止しようとするに、当局の尖兵として、ジェット燃料用機関車三両の千葉への送り込みに協力し、農民に敵対しようとする反動暴力分子に、「態度表明をしろ」などという資格があるのでしょうか。

全国の動労組合員の皆さん！

動労千葉は「本部」反動暴力分子のこのような敵対を充分に想定し、それをはねのけて10・22ストに決起する体制を打ち固めています。

二期工事粉砕、ジェット増送阻止、国鉄三五万人体制粉砕へ、共に決起しようではありませんか。

組織破壊攻撃を粉砕せよ！ 強固な団結で組織破壊攻撃を粉砕せよ！